

2025 年 11 月 5 日

報道関係各位

伝統技工で機能美を表現した万年筆
『伝統漆芸 嘜 万年筆 黒銀箔』
11 月 15 日 (土) 全国発売

セーラー万年筆 (社長：田村光、本社：東京都港区) は、「伝統漆芸 嘜 万年筆 黒銀箔」を
2025 年 11 月 15 日より全国のセーラー万年筆製品取扱販売店にて発売いたします。

■『伝統漆芸 嘜』

「伝統漆芸 嘜」は蓋に特長な筋状成形を施し、
機能美あふれる仕上がりとなっております。



◆名称の由来

嘜…縄手／嘜 (なわて) NAWATE

1. 田の間の道。あぜ道。なわて道。
2. まっすぐな長い道。
3. 縄の筋、なわ。(出典：デジタル大辞泉)

伝統漆芸 嘜 万年筆の最大の特長である蓋の
筋状成形のイメージから着想して「嘜」と命名しました。

黒銀箔について

黒銀箔は、一般的なシルバー製品にも見られる銀と硫黄成分が反応する「硫化」によって硫化銀へと変化し、黒に近い色調になります。1 枚の箔でも部位によって黒さにムラがあり、箔自体に自然なまだら模様が生れます。素材は純度 99.99% の銀箔を使用しています。



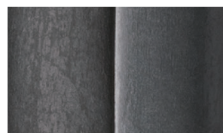
【伝統漆芸 嘜 万年筆 黒銀箔 ラインアップ】



慍-sei- (つやあり)



影-ei- (つやなし)



嘜万年筆 黒銀箔の『慍(せい)-sei-』(つやあり)と『影(えい)-ei-』(つやなし)は漆をまだらに塗り重ね、その上に黒銀箔を繊細かつ意図的にまばらに施しています。この工程により単調な黒では決して表現し得ない奥行きと豊かな陰影、そして光の加減によって揺らぐような表情を生み出しています。漆黒の夜空に燦然と光を放つ『慍-sei-』と、穏やかな月の光に照らされ、そっと浮かび上がる『影-ei-』。いずれも黒の美しさが際立つ万年筆に仕上がりました。

●筋状成形を施した蓋

会津若松で三代つづく漆工房、「漆工よしだ」。

会津塗の技法に拘らず、器の用途により合うカタチ・技法を考えながら制作している漆工、吉田徹が万年筆に合うカタチ・技法を考えて生まれた「伝統漆芸 嘜 万年筆」。蓋に伸びる筋は縦長の視覚効果と、持った時の指の掛かりによる蓋の開け閉めの安定感を考慮した形状で、まさに機能美といえます。



●会津塗の特長と歴史

会津塗は、福島県の西部に位置する会津地方に江戸時代から伝わる伝統技法で作られた工芸品です。盆地特有の湿潤な気候が漆を扱う環境として適していました。縁起の良い意匠や多彩な加飾の美しさがあります。

会津塗の産業としての歴史は、1590 年 (天正 18 年)、蒲生氏郷が会津に入封したときに始まります。

江戸に近いこともあり、漆の木の栽培から加飾まで、作業を一貫して手がける一大産地となり技術革新にも取り組み、幕末には外国に輸出されるほどになります。

【伝統漆芸 啜万年筆 黒銀箔 制作工程】



①下塗り(2回)
素地に黒のすぐろめ漆※を塗り、この後の漆の工程のベースをつくる。



②筋作り(3回)
漆と砥の粉で出来た下地材をヘラで形作る。1層ごとに研いで整える。



③中塗り(2回)
滑らかに形を成型した後、漆を塗る。



④箔(2層)
漆を薄く塗り、漆が乾く前に黒銀箔の表裏を使い分け表情を出しながら貼りつける。



⑤拭き漆
箔を定着させるため拭き漆を行う。



⑥箔まだら模様
(惺-sei-のみ)
黒銀箔のムラ感をさらに上げるために、漆をまばらに塗り黒銀箔を貼る。



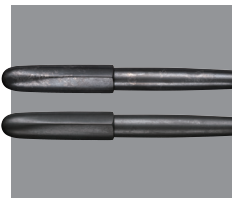
⑦拭き漆
漆を浸み込ませ、箔を定着させるため拭き漆を行う。



⑧-1磨き
(惺-sei-のみ)
コンパウンドで艶を出し、まだら模様を浮き立たせる。



⑧-2拭き漆(3回)
(影-ei-のみ)
漆を浸み込ませ、漆の質感を出す。



⑨完成

※すぐろめ漆:漆の水分を抜いた濃度の濃い漆。今回使用している漆はすべてすぐろめ漆を使用しています。

世界で評価された21 金ペン先



漆工 吉田 徹

1968年 会津若松生まれ
1987年 家業の漆工房に入る
1993年 長野・木曾の佐藤阡朗氏に師事
1996年 会津若松にて独立
2002年 伝統工芸士認定
2004年 初個展 以降個展グループ展を重ねる

セーラー万年筆独自の技術で成し得た 21 金ペン先。万年筆のペン先として多く使われている 14 金や 18 金に比べて弾力をもたせており、筆圧が強くなったときでもペン先の切れ込みが開くことなく、インク切れが起こりにくくなります。“しなる”ように紙面を滑り、常に安定したインク供給で“フェザータッチ”とも言われる快適な書き味が楽しめます。しなやかな書き心地を実現した、万年筆の原点が感じられる逸品です。



【製品スペック】

品名：伝統漆芸 啜 万年筆 黒銀箔

希望小売価格：209,000 円（本体価格 190,000 円）

ペン先：21 金／大型、中字

蓋：エボナイト／筋状成形、漆塗り、黒銀箔

胴：エボナイト／漆塗り、黒銀箔

大先：PMMA 樹脂

金属部品：ゴールド IP 仕上げ

本体サイズ：φ 18.7×151.6mm、31.4g

パッケージ：オリジナル木箱（桐箱）、(W207×D70×H91mm)

セット内容：伝統漆芸 啜 万年筆 黒銀箔 1 本、1 本袋、

クリーニングクロス 1 枚、カートリッジインク(ブラック) 2 本、

万年筆用使用説明書 1 部、製品説明書 1 部、万年筆品質保証書 1 部

パッケージ



天面に伝統漆芸の箔押しを施した桐箱。台座付きのカブセ箱でこれまでにない和洋の雰囲気をもたせ持つ「伝統漆芸 啜」シリーズオリジナルの木箱となります。



一本袋は、着物をほどいた生地を裁断し、一つ一つ手作りで仕上げております。着物からとった上質な正絹の手触りは心地良く、万年筆の収納に適した仕上がりです。

【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167（フリーダイヤル）

以上

《当リリースに関する問合せ先》

開発本部：03-6670-6605 木村（press@sailor.co.jp）

不在時：開発本部 中島（press@sailor.co.jp）

※画像のご依頼は、木村 までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社（代表取締役社長 田村光）コード番号 7992 東証スタンダード

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10 階

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://sailor.co.jp>